

晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

「エクステリアの日」 11月28日

「いい（11）にわ（28）」（いい庭）と読む語呂合わせから日付が決定されたといわれています。

「インテリア」に対しての「エクステリア」が、住む人により多くの癒しや楽しみを感じてもらえる住環境づくりに貢献することが目的で（公財）日本エクステリア建設業協会が制定しました。



11月の誕生花・記念樹

11月2日 ガマズミ

「私を見て」

秋に美しい実を觀賞できる代表的な樹木。

酸味のある実は生食もできますが、お酒として楽しむのが◎。ガマズミは花も実も美しく、病虫害も少ないという、優れた樹木です。



11月5日 ハウチワカエデ

「大切な思い出」

葉が天狗の持つ羽団扇のような形から命名。団扇状の葉と、灰青色の滑らかな幹を持ち、秋の紅葉が非常に美しいことから、庭木として人気があります。



11月7日 オトメサザンカ

「ひたむきさ」（ピンクの花のみ「永遠の愛」）

花は淡いピンク色で、中輪の千重咲き。樹勢は強い方で立性です。横枝も張りますが、整った円錐形に仕立てやすい特徴があります。



11月28日 ムクロジ

花言葉なし

果皮にサポニンを含み、昔は洗濯等に利用しました。また種子は羽根突きや羽根珠や数珠に使われます。秋の黄葉も美しく魅力的です。

みどりの豆知識



マツのもみあげ

もみあげ…秋～冬に古い葉をしごき落として整枝すること。

マツは日差しを好みます。枝葉が伸びて茂ると見栄えが悪くなるだけでなく、下枝まで日光が届きません。もみあげをすることで下枝にも日差しが届き、枝が枯れることを防ぎます。また、葉を透くことでマツケムシが葉の間に越冬ができにくくなるので害虫予防にもなります。適期は10月下旬～1月頃です。一本ずつ手作業でするため、マツの大きさや状態によっては数日の作業になることもあります。



昨年
の葉
をしご
き

手でし
ごき
上げて
取り

枝先の
葉を7
cm程
残す。

赤い実なんの樹？

11月の赤い実をつける樹木たち。ヒントを頼りに当ててみよう！

みどりのクイズ

※答えは下段にあります



①黒みを帯びた葉色が由来で「黒鉄のモチノキ」



②雪の中でも見られる。実は輝きのある鮮紅色



③かつては印鑑や櫛の材料として用いられた



④韓国料理のサムゲタンには欠かせない

みどりのお知らせ

冬こそやっておきたい6つの庭仕事



寒い冬空の庭仕事は、あまりモチベーションが上がらないかもしれません。しかし、夏の庭と違って熱中症のリスクがなく、害虫による虫刺されの心配も少ないでしょう。何より、この季節にすませておくと、来るべき春の庭がぐんと華やかになります！

①雑草の除去

雑草の生える勢いは夏ほどではなく、また夏に比べると土に張る根の力が格段に弱いので、弱い力でも抜きやすいです。冬のうちに雑草の根をできるだけ抜いてしまえば、春以降に生える雑草はかなり少なくなるでしょう。

②落葉樹の剪定

冬になると葉が落ちる落葉樹は、枝が見えやすい冬が剪定に最適。剪定することで木の隅々まで日が当たるようになり、成長を促すことができます。剪定用のハサミなどを用いて、からみ合った枝を適度にカットしましょう。

③害虫対策

冬に害虫対策することで、暖かくなって動き出す害虫を減らすことが期待できます。薬剤散布は風の少ない日に短時間で終わらせるのが鉄則。服装は完全防備で行いましょう。

④土のメンテナンス

春に向けて庭の土をゆっくり休ませるのがおすすめ。土の入替までしなくてもよい場合は、花壇の底から土を掘り起こす「天地返し」を月1回程度行うとよいでしょう。春夏に植物がうまく育たなかった土は入替やメンテナンスが必要です。

⑤宿根草の株分け

放置すると日当たりが悪くなり、茎1本1本の力が弱まってしまいます。そのため根を切り分けて他の場所に植え替える「株分け」が必要。新芽が出る前の冬が株分けするのに適しています。

⑥球根メンテナンスと植え付け

チューリップなど春に花をつける球根は秋に植付するのが最適。

植えるタイミングを逃してしまった場合は、冷蔵処理によって開花を調整したアイスチューリップの球根なら春の開花に間に合います。

